

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則・競技会における広告および展示物に関する規定および競技注意事項により行う。

2 競技場の使用について

ウォーミングアップは、補助競技場、投てき競技場で行う。特に投てき練習については、砲丸投を除き補助競技場で行うので練習にあたっては監督の付き添いのもと特に危険防止に努める。室内練習場は使用できない。

本競技場並びに補助競技場は全天候舗装のためスパイクの長さは9mm以内、走高跳は12mm以内とする。

(競技規則143条2・3・4・5・6) 参照

本競技場での練習は、競技開始30分前までとする。

補助競技場の用器具を使用する場合は、使用者が責任を持って元の場所に戻すこと。

3 招集について(招集場所は、各々の競技開始場所で行うので注意する)

(1) 招集の方法については、次の通りである。

- ① 第1コールは、不参加および欠場がある場合のみ、所属団体別に代表者が各種目の競技開始1時間前までに3階TICに届けること。
- ② 招集開始時刻には競技者本人が各競技開始場所に待機しアスリートビブスを見せ確認を受ける。代理人による招集は認めない。ただし、2種目を同時に出場する競技者はあらかじめTICに届を提出すること。招集完了時刻に遅れた競技者は棄権とみなす。
- ③ 混成競技の招集は、第1日目および第2日目の最初の種目については、競技場で行う。2種目目以降も、各競技場所で確認を受け、当該競技役員の指示に従う。

4 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、今年度の登録番号を着けること。
- (2) 着用については、競技規則第143条7・8を遵守すること。
- (3) トラック競技(800m以上)に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバー標識を係より受け取り、腰部のやや後方の両サイド取り着ける。

5 競技の抽選ならびに番組編成について

- (1) 予選におけるトラック競技のレーン順ならびに跳躍・投てき競技の試技順は、プログラム記載の左側に示された番号順とする。
- (2) トラック競技の決勝については、主催者がルールに則り組み合わせ、レーン順を決定する。フィールド競技の決勝については、3回の試技で上位8人を選出し、記録した成績の低い順に、後3回の試技をする。

6 競技及び競技方法について

(1) トラック競技について

- ① トラック競技の計時は、すべて写真判定装置(全自動電気計時装置)を使用する。
- ② 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走る。
- ③ トラック競技の決勝のレーン順は本部で抽選により決定し、3階に掲示する。
- ④ タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定については、第167条2を適用し抽選とする。
- ⑤ トラック競技の男子800m予選・5000mと女子800m予選・3000mは2段階のグループスタートで実施する。

(2) フィールド競技について

- ① フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ② 跳躍種目及び投てき種目のやり投の競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)に主催者が用意したマーカー(2個まで)を置くことができる。砲丸投・円盤投・ハンマー投については、サークル直後に主催者が用意したマーカー(1個)を置くことができる。競技者は勝手に競技場を離れることはできない。
- ③ 三段跳の踏切板は、砂場から11m、女子は9mの地点に設置する。(審判長の判断で変更することもある)

8 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

(1) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。

(ただし、天候等の状況により変更することもある。)

種 目	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
男子走高跳	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85				以後3cm
女子走高跳	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55					以後3cm
男子棒高跳	2.80	3.00	3.20	3.40	3.50	3.60	3.70	3.80	3.90	4.00	以後5cm
女子棒高跳	1.60	1.80	1.90	2.00	2.10	2.20	2.30	2.40	2.50	2.60	

(2) 混成競技の走高跳のバーの上げ方は下記のとおりとするが、審判長判断で変更することもある。

種 目	練習	1	2	3	4
八種走高跳	1.35	1.40	1.45	1.50	以後3cm
七種走高跳	1.10	1.15	1.20	1.25	以後3cm

(3) 第1位および第3位が同成績の場合における順位決定のバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cmとする。

9 リレー競技について

(1) リレー競走に出場するチームは、所定の「リレーオーダー用紙」に記入し、3階TICに提出する。

なお、締切時刻は、招集完了時刻の1時間前までとする。用紙は、TICからもらう。

(2) リレー競走において使用するマーカーは各チームで用意する。除去については使用したチームが必ず行う。

(3) リレーに出場するチームは同色系のユニフォームを着用すること。

- (4) リレーのオーダー提出後変更が生じた場合は、医務室で証明を貰いT I Cに提出する。

10 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は、ネット上の速報で確認する。
(2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則146条に定められている時間内に、競技者本人または代理人が、担当総務員に口頭で行い、総務・審判長に報告する。審判長は速やかに裁定し、担当総務員に伝える。担当総務員は審判長の裁定を伝達する。競技者本人または代理人は別室で待機する。
さらに、この裁定に不満の場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通じて上訴審判員に文書で申し出る。

11 助力について

- (1) 競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出なければならない。
(2) 携帯電話や通信機器、音楽再生機器および撮影機器等を所持または使用することはできない。
(競技規則第144条3(b))
(3) 競技役員が助言またはその他の支援を提供することをしてはならない。競技規則第144条2を適用する。

12 競技用具について

棒高跳用ポール以外、競技に使用する用具は主催者が用意したものを使用しなければならない。
ただし、やり・円盤・ハンマーは、競技場備え付け以外のものに関して当日検査の上使用を認める。
希望者は競技開始時刻70分前に第2コーナーの用器具倉庫で検査を行い合格した用具は、一括借り上げし参加競技者間で共有できるものとし競技終了後に返却する。(競技規則第187条2(国内))。

13 表彰について

- (1) 表彰式は行わない。各種目とも3位までの入賞者の賞状は3階中央ゲート付近に並べておくので各学校で取りに来ること。
(2) 3位内の入賞者は、「九州高校新人大会出場」の手続きを競技本部(108号)で受ける。
(3) 団体の表彰は、男女別に総合、トラック、フィールドの部のそれぞれ3位まで行う。なお同得点の場合は、上位種目の多い学校を上位とする。
(4) 入賞者の得点は、1位6点・2位5点・3位4点・4位3点・5位2点・6位1点とする。

14 一般注意事項

- (1) 新型コロナウイルス対策については、日本陸上競技連盟・熊本陸上競技協会ガイドライン及び本大会のガイドラインに沿って実施するのでHPをご覧ください。
(2) エレベーターの使用については、競技運営上支障が生じるので競技役員以外の使用は禁止とする。
また、7階のトイレ使用は7階の競技役員のみとし一般の使用は禁止する。
(3) 競技者以外、トラック周囲への立ち入りは禁止する。
(4) 応急手当を要する場合、及びその他の健康上の問題が生じた場合は競技役員に申し出て、医務室を利用することができる。
(5) 競技場内での疾病、傷害については応急手当のみを行い、以後、各参加校の責任において処置すること。
(6) 記録の証明を希望する競技者は、庶務係の受付に用意した記録証交付願いに、500円を添えて申込み、後日郵送する。
(7) 競技場内での写真撮影は、大会本部の許可を受けること。(報道カメラマンのみ許可する)
(8) すべての応援はスタンドで行うこと。また、スタンドにおける集団は禁止する。
(9) 個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
① 大会プログラム掲載
② 電光掲示板・掲示板等への掲載
③ 競技結果の報道機関・報告書等への掲載
④ 新記録や優勝結果等の大会プログラム(次年度以降)への掲載
⑤ 報道機関が撮影した写真・映像の公開